

令和8年度
八戸圏域広域的体験学習支援事業
「発見！ふるさと体験隊（はっふる隊）」
【小学校】実施要項



八戸市教育委員会

**令和8年度八戸圏域広域的体験学習支援事業
「発見！ふるさと体験隊（はっふる隊）」【小学校】実施要項**

- 1 目的 ・八戸圏域連携中枢都市圏内（八戸市、三戸郡町村、おいらせ町）にある公共施設等を活用した体験学習を行うことにより、児童の生きる力を育む。
- 2 内容 ・八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町の小学生が、圏域内にある施設を利用した体験学習を行う際のバス借上料及び施設入館料（使用料）を負担する。
・各学校二個学年を対象として台数を設定する。
※小規模校による複数学年の体験学習は、バス1台で収まる人数（大型で55人程度）とする。一個学年に対して最低バス1台と換算するため、小規模校においてはバス2台分の借り上げ料を負担する。

3 本事業で利用可能なバス会社

①三八五バス株式会社	<TEL0178-24-3331>	略称「三八五バス」
②三八五交通株式会社	<TEL0178-24-3335>	略称「三八五交通」
③岩手県北自動車株式会社南部支社	<TEL0178-20-0160>	略称「南部バス」
④株式会社北日本中央観光バス	<TEL0178-88-1515>	略称「北日本バス」
⑤株式会社 東北都市交通	<TEL0178-80-7925>	略称「東北都市交通」
⑥寺下運輸倉庫株式会社	<TEL0178-56-4611>	略称「寺下運輸バス」
⑦十和田観光電鉄株式会社	<TEL0176-23-3132>	略称「十和田観光」

※市町村所有バス利用の場合：「公用バス」

4 実施までのスケジュール

4月13日（月） より	<p>○バス及び施設の予約開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校でバス及び施設の予約をする。 ・予約終了後、「広域的体験学習計画書」を提出する。 ・冬期休業前実施分：体験学習を行う2週間前まで ・冬期休業後実施分：1月29日（金）正午まで
4月30日（木） ※開始予定	<p>○体験学習開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰校時、バス運転手より「乗車証明書」の提示があるので内容を確認の上署名する。 ・体験学習終了後、「広域的体験学習報告書」を提出する。 ・<u>4月30日（木）前に実施した体験学習は、「はっふる隊」の対象となりません。バス代及び入館料は、各校の負担となりますので御注意ください。</u> ・【11月以降の利用に関する申請】 ① <u>10月末までに計画書（仮）を提出</u> ※日付は未定でも行き先を確定して、バス代の見積もりを必ず記載 ※<u>計画書（仮）を提出していない場合、11月以降の利用は不可</u> ② <u>実施2週間前までに計画書（確定版）を提出</u> ・実施は2月26日（金）まで
提出方法について	<p>○八戸市立小学校→Govatt ポスト</p> <p>○三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町の小学校 →下記担当へメール（電子データ添付）</p>

【担当】

八戸市教育委員会 教育指導課 実践支援G
主任指導主事 岩城 淳史
TEL 43-9519(直通) FAX 47-4997
E-mail iwaki-atsushi@hec.hachinohe.ed.jp

広域的体験学習支援事業（小学校）

八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町の学校教育の充実を図るため、圏域内の文化・スポーツ等の公共施設を活用した児童対象の体験学習の実施を支援する。

「発見！ふるさと体験隊（愛称：はっふる隊）」

事業参加6自治体

八戸圏域広域的体験学習支援事業



体験学習メニューの
情報収集・充実



交通手段の支援
(バス借上料)

圏域公共施設

圏域小学校



体験学習の実施



【体験学習メニュー例】

- | | |
|-------|--|
| 八戸市 | <ul style="list-style-type: none"> ●是川縄文館で縄文土器づくり ●水産科学館マリエントで餌やり体験 ●みなと体験学習館で防災教室 ●YSアリーナ・フラット八戸でスケート教室 |
| 南部町 | <ul style="list-style-type: none"> ●B&G海洋センターで水泳教室 |
| 新郷村 | <ul style="list-style-type: none"> ●間木ノ平グリーンパークで乳搾り体験 |
| 階上町 | <ul style="list-style-type: none"> ●フォレストピア階上でそば打ち体験 |
| おいらせ町 | <ul style="list-style-type: none"> ●阿光坊古墳館で勾玉づくり |

など

【令和7年度の活用実績】

区分	利用校数	校数(延べ)	参加児童数(延べ)
八戸市	40	74	3,322人
圏域町村	11	20	624人
合計	51	94	3,946人

令和8年度

広域的体験学習計画書

【小学校】

学校名	〇〇町立〇〇〇小学校	担当者	〇〇〇〇	連絡先 電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
-----	------------	-----	------	-------------	--------------

No.	体験学年						人数				体験日			活動時間	利用バス 会社	広域的体験学習として 利用する施設名	体験(利用)する内容	備考 (その他に立ち寄る場所等)
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童	教員	他	合計	月	日	曜					
1			○	○			34	2		36	9	13	火	(出発時刻) 9:00 ~ 15:00 (到着時刻)	三八五交通 (台数) 1台 (見積金額) ¥ 76,000	是川縄文館 八戸博物館	土器作り 昔のくらし体験	八戸清掃工場 (引率代 教頭 見学のみの施設はこちらに記入します。
2							「三八五バス」と「三八五交通」を間違えないようにしてください。							(出発時刻) ~ (到着時刻)	(台数) (見積金額)			(引率代表者 職・氏名)

【記入上の注意】

- バス会社や施設等についての予約が完了しましたら、この計画書に決定事項を打ち込む。
- 必要事項入力後、遅くとも下記の期日までに提出する。
【計画書の締切日】
・冬季休業前：体験学習を行う2週間前 ・冬季休業後：1月29日(金)正午締切
【提出方法】
・八戸市立小学校→Govattポスト ・三戸、五戸、田子、南部、階上の小学校→担当指導主事へメール(計画書のデータ添付)
- 小規模校による複数学年の体験学習は、バス1台で収まる人数(大型で55人程度)とする。
- 体験学習以外の施設も訪問・見学等をする場合は、備考の欄に打ち込むこと。

八戸圏域広域的体験学習支援事業



【担当】

八戸市教育委員会 教育指導課
主任指導主事 岩城 淳史
TEL 43-9519 FAX 47-4997
E-mail iwaki-atsushi@hec.hachinohe.ed.jp

体験プログラム一覧

八戸圏域の公共施設で実施しているプログラムの一例となります。この他にも学校の御希望に対応できる場合や別の公共施設もありますので、個別に施設と御相談をお願いします。

市町村名	施設名	連絡先	プログラムの名称と概要[体験時間]
八戸市	八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館	0178-38-9511	<p>○いのるん縄文学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産となった是川遺跡や国宝合掌土偶を育んだ縄文時代について、展示見学とものづくり体験を通じて学ぶ。体験は以下の内容がある。 ①火起こし [15分] ②土器文様拓本[60分] ③土製耳飾り作り[60分] ④縄文土器作り[90分] ⑤土偶作り [90分] ⑥縄文布を編む[120分] ⑦勾玉作り(滑石・琥珀)[60分] ⑧本物の出土品やレプリカをさわる体験[10分～] <p>※常設展示解説のほか、世界遺産、国宝土偶などの解説と体験の組み合わせが可能。 ※③～⑤の粘土を使う体験は、乾燥が必要なため1週間後の引渡しとなる。</p>
	八戸市博物館 *令和9年6月頃 まで休館予定	0178-44-8111	<p>○昔の暮らし体験[60分]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員による館内の解説や昔の暮らしを実際に体験できる体験学習。
	南郷歴史民俗資料館	0178-83-2443	
	八戸市 リサイクルプラザ	0178-70-2396	<p>○新聞紙はがきづくり[60分]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙をリサイクルしてはがきを作る体験を通じて、リサイクルについて学ぶ。
	八戸市児童科学館	0178-45-8131	<p>○科学館 KIDS 工房[10～15分]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員のサポートを受けながら、工作体験を行う。(プラ板工作、スイーツデコ作りなど) <p>○実験ショー[30分]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員による科学実験ショーを見学する。 <p>○プラネタリウム学習投影[40分]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年に対応した内容のプラネタリウム番組を投影する。 ◇投影番組幼児投影(小学1～2年生向け、生解説) ◇小学4年生向け学習投影(生解説) ◇小学6年生向け学習投影(生解説) ◇一般投影(小学校全学年向け、自動投影) <p>○天体観測会[120分]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望遠鏡を用いた、天体観測。(日中でも、太陽望遠鏡を使った太陽観測が可能)
舘鼻公園 八戸市みなと体験学習館 (みなっ知)	0178-38-0385	<p>○震災タイムトンネル・湊ワイドスコープ[20分]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湊地域の歴史・文化と東日本大震災の被害を伝える学習の場として旧八戸測候所を改修した施設。災害時の防災機能も備えており、東日本大震災の実情や教訓を広く内外及び次世代に伝承する「震災伝承施設」としても登録されている。 	

八 戸 市	八戸市水産科学館 マリエント	0178- 33-7800	<p>○深海水圧実験[20分] ・水深 1000m の深海の世界の圧力を再現する実験。</p> <p>○デンキウナギの実験[休止中] ・デンキウナギが出した電気を使って行う実験。</p> <p>○エサやり体験[15分] ・熱帯魚水槽や八戸で獲れる近海の魚、淡水魚水槽の魚たちへのエサやり体験。</p> <p>○マリンレンジャーによる魚たちへの餌付け [15分] ・大水槽にマリンレンジャー(ダイバー)が潜り、魚たちがエサを食べる様子を観察することができる。大水槽には主に八戸近海で獲れた魚やアオウミガメを展示。また、水槽の中からマリンレンジャーがお客様を水中カメラで撮影。来館記念の思い出の1枚としてマリエントホームページ「魚眼図」から自由にダウンロードできる。</p> <p>○海の不思議 BOX[15分] ・中身の見えない箱の中に手を入れ、想像力と推理力を発揮して、中に入っている海の生き物の正体を当てる内容。</p> <p>○ウミネコシアター[10~15分] ・30分毎の上映を行っている。回毎に内容が変わり、希望の時間と内容での上映も可能。</p> <p>○タッチ水槽[常設] ・通年にわたり、磯の生物に触れられる体験ができる水槽。</p> <p>○職場体験 ・水槽、飼育作業(水槽掃除・水換え、エサやり等) ・磯の生物採取(時期による) ・体験メニュー(実験やお客様向けのエサやり体験等)の補助</p>
	八戸市中央卸売市場	0178- 28-8888	<p>○青果模擬せり体験[30分] ・野菜や果物の価格がどのように決められているのか模擬せり体験をすることができる。</p>
	八戸市西地区 給食センター	0178- 32-7890	<p>○手の洗い方体験[10~15分] ・給食センターが、安全・安心な給食を提供するために取り組んでいることを、手の洗い方体験を通して学習することができる。</p> <p>○大きなお鍋をかき混ぜてみよう[10~15分] ・大きな鍋に入ったカラーボールをかき混ぜる活動を通して、大量の給食を作る過程を体験することができる。</p>
	青葉湖展望交流施設 (山の楽校)	0178- 82-2222	<p>○そばうち体験をはじめとした各種体験楽校 ・指導者がサポートを行いながら、体験を行う。 ・そば打ち体験 [60分] ・エコクラフト [180分] ・てんぼせんべい焼き [1枚1分]</p>

八戸市	YS アリーナ八戸	0178-43-9544	○スケート教室〔設定枠内〕 ・各学校で計画実施するスケート教室で利用することができる。
	テクノアイスパーク八戸	0178-25-5655	
	フラット八戸	0178-20-7821	
	南郷カッコーの森 エコランド 温水プール	0178-82-3310	○水泳教室〔各学校による計画〕 ・各学校で計画実施する水泳教室で利用することができる。 ○着衣水泳体験教室～水で遊ぼう～ ・服を着たまま水に入るとどう感じるのか、水の事故を想定した日常身近にあるものを使った自己保全や救助法を、日本赤十字社指導員を講師に迎えて水で遊びながら楽しく体験できる。 <u>なお、当施設を利用して学校・学級単位で着衣水泳を実施する場合も支援可能である。</u> 【要相談・要申請】
	八戸市美術館	0178-45-8338	○芸術鑑賞・ワークショップ〔30～60分〕 ・学芸員やコーディネーターによる、解説付きツアーや対話鑑賞、ワークショップなどの体験ができる。
	市民の森 不習岳	0178-83-2146	○木工体験〔30分〕 ・不習岳を散策して集めた、枝葉や木の実などの「森の恵み」を活用しての自由工作を通して、森に対する理解を深める。 ○ピザ窯でピザづくり体験〔60分〕 ・キャンプ場に備え付けてあるピザ窯でピザを焼くことができる。
三戸町	三戸城跡・県立城山公園 三戸町立歴史民俗資料館	0179-20-1157 三戸町教育委員会事務局	○お城を歩いて歴史と自然を知ろう！ ・戦国時代の南部家の居城であった三戸城跡を散策して、お城の形やその役割について学ぶことができる。また、城跡にある歴史民俗資料館と合わせて見学することで、南部一族の歴史についての理解も深められる。このほか、城跡内で見られる地層や植物から、大地のなりたちや生物などの自然についても知ることができる。
南部町	バーデハウスふくち	0178-84-2850	○水泳教室〔各学校による計画〕 ・各学校で計画実施する水泳教室で利用することができる。
	ふくちアイスアリーナ *休業中	0178-84-2850	○スケート教室〔設定枠内〕 ・各学校で計画実施するスケート教室で利用することができる。
	B&G 海洋センター	0178-76-3310	○水泳教室〔各学校による計画〕 ・各学校で計画実施する水泳教室で利用することができる。
階上町	フォレストピア階上	0178-88-4449	○ジェラート作り体験〔60～90分〕 ・ジェラート専用機械を使用しジェラートの作り方を学び、作ったジェラートを試食する。
	階上町 わっせ交流センター	0178-88-2709	○そば打ち体験〔90～120分〕 ・階上町の特産の階上早生階上そばを使ったそば打ち体験で、階上町の特産物を学べる。

新郷村	(一財)新郷村ふるさと活性化公社 間木ノ平グリーンパーク	0178-78-2511 (新郷村ふるさと活性化公社) 0178-78-3333 (間木ノ平グリーンパーク)	<p>○ウィンナー作り体験【要予約】[60分] ・食肉加工(ウィンナー)についてを学び、腸詰作業を行う。</p> <p>○アイスクリーム作り体験【要予約】[60分] ・アイスクリームの特性などを学び、作ったアイスを試食する。</p> <p>○魚のつかみどり体験[要確認] ・ふれあいの川でイワナ、ニジマスなどのつかみどりができる。獲った魚はその場で焼いて食べることができる。</p> <p>○ポニー乗馬体験[12:30-13:30 休憩] ・ポニー乗馬体験ができる。係員が付き添う。</p> <p>※体験にかかる材料費、体験料は学校負担となります。</p>
田子町	<p>タプコブ創遊村</p> <p>創遊村 229 スキーランド</p>	0179-32-4344 0179-32-2100	<p>○手焼きせんべい … せんべい焼き[30分]</p> <p>○スキー教室[各学校による計画] ・各学校で計画実施するスキー教室で利用することができる。</p> <p>※リフト代金…圏域内小学生は、特別価格でシーズン券が購入できるため、シーズン券購入代を補助する。 【要事前申請】</p>
おいらせ町	<p>大山将棋記念館 (社会教育・体育課)</p> <p>おいらせ阿光坊古墳館</p>	0178-52-1411 (大山将棋記念館) 0178-56-4276 (社会教育・体育課) 0178-20-0405	<p>○大山将棋記念館見学[各学校による計画] ・偉大なる将棋棋士大山康晴十五世名人を学び、将棋に触れ楽しむ。</p> <p>○将棋体験 ・将棋を体験し楽しさを学ぶ。</p> <p>○将棋教室 ・礼儀や考える力、集中力、忍耐力など、将棋のもつ教育的効果を取り入れながら日本の伝統文化将棋を学ぶ。</p> <p>○勾玉づくり体験、土器づくり体験[90分] ・古代の技術を体験できる、様々な体験学習講座を行っている。光の差し込む明るい体験学習室で、古代のものづくりを行う。(要材料費)</p>

広域的体験学習支援事業「発見！ふるさと体験隊(はっふる隊)」
で利用可能なバス会社について

No	会社名	連絡先
1	三八五バス株式会社	〒031-0801 八戸市江陽二丁目18-37 TEL 0178-24-3331 FAX 0178-44-6018
2	三八五交通株式会社	〒031-0072 八戸市城下四丁目19-15 TEL 0178-24-3335 FAX 0178-44-3529
3	岩手県北自動車株式会社 南部支社(南部バス)	〒031-0023 八戸市大字是川字二ツ屋6-79 TEL 0178-20-0160 FAX 0178-45-4416
4	株式会社 北日本中央観光バス	〒039-1201 三戸郡階上町大字道仏字耳ヶ吠8-1 TEL 0178-88-1515 FAX 0178-88-5450
5	株式会社東北都市交通	〒039-1202 三戸郡階上町大字赤保内字外平23-43 TEL 0178-80-7925 FAX 0178-80-7926
6	寺下運輸倉庫株式会社	〒039-2155 おいらせ町木ノ下西797-2 TEL 0178-56-4611 FAX 0178-56-2941
7	十和田観光電鉄株式会社	〒034-0001 十和田市稲生町17-3 TEL 0176-23-3132 FAX 0176-22-7731

FAX 送り状

はっふる隊(発見!ふるさと体験隊) 広域的体験学習支援事業バス申込書



令和 年 月 日

【送り先】利用バス会社名 (○をつけてください)

・三八五バス	(FAX 0178-44-6018)
・三八五交通	(FAX 0178-44-3529)
・南部バス	(FAX 0178-45-4416)
・北日本バス	(FAX 0178-88-5450)
・十和田観光	(FAX 0176-22-7731)
・寺下運輸バス	(FAX 0178-56-2941)
・東北都市交通	(FAX 0178-80-7926)

【発信者】

・学校名	立	学校
・担当者氏名		
・連絡先	TEL ()	—
	FAX ()	—

【申込み内容】

実施日	令和 年 月 日 (曜日)
予定時間	出発時刻 : ~帰着時刻 :
行き先	
学年・利用人数	学年 (名) 引率者 (名)
希望台数	台 (大型・中型・小型)
その他	

【記入例】

広域的体験学習支援事業（はっふる隊）事業

乗車証明証

○月○日（○曜日） ○○○立 ○○○学校 ○学年

バスの種類	台数
大型	1台
中型	台
小型	台

バス会社の名称	
---------	--

○上記項目は、各バス会社が記入します。

学 校 確認欄	_____ 学校
	担当氏名 _____

○引率の教員は、内容を確認の上、署名をお願いします。

広域的体験学習調査票（計画書・報告書）データ（E x c e l）は、以下の場所にも掲載しますので、ご活用ください。

(1) 八戸市内小中学校

・ G o v a t t のフォーラム「教育指導課」

→ 「実践支援G関係」

→ 「4はっふる隊申請書関係」

→ 「令和8年度はっふる隊関係資料」

フォーラム検索：はっふる隊

(2) 圏域小中学校

・八戸市教育委員会ホームページ(<http://www.hachinohe.ed.jp/>)

→ 「教育指導課」

→ 「はっふる隊申請書関係2026」